

# 議案第79号

## 反対

### 【日本共産党】

国も市も経済支援を強める中、所得の低い国保世帯に赤字解消のための負担増は問題。均等割は見直すべき。

4800円増加し、4万9200円。40代夫婦と子ども2人、所得251万円の国保税は41万6500円で、協会けんぽや共済組合の倍以上。収入率も低く払い切れていない。他の保険に均等割はなく不公平。子どもにも課され子育て施策と整合性を欠く。せめて子どもの均等割はなくすべき。市町村は均等割を抑えるために苦勞してきた。均等割を上げる標準保険料率は誤りで、赤字解消も見直すべき。

本会議の様子は、議場で傍聴する以外でも下記によりご覧いただけます

- インターネット中継（ライブ、録画）
  - … 川越市議会ホームページ
- 今定例会の会議録（2月下旬頃から）
  - … 川越市議会ホームページ 図書館等



※2次元コードからアクセスできます。  
※通信費は利用者負担になります。

# 市政に関する一般質問

今定例会では、31名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針等について質問をし、必要に応じて市に対し意見や施策の提案をします。質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載しています。

問

回答者 ※ (質問の要約)

答弁の要約

※印の付いた答弁は複数の回答者の発言をまとめたものです。

通告事項の要約

会派名 議員氏名 質問の順番

一般質問の表題

中継映像の2次元コード



自由民主党 須賀 昭夫 1  
5年・10年後のビジョンは



問 本市の財産である有形・無形の歴史的資源を生かしながらのまちづくりと観光振興に対して、5年後・10年後を見据えた市のビジョンを伺いたい。

答 宮本副市長 歴史的建造物は周辺地域に活力をもたらす存在に育てることが重要。民間活力を生かし再生・利活用を促進することで、地域に新たな価値が生まれ、川越ら

しい持続可能なまちづくりが進むものと考え。観光のビジョンについては、令和4年8月に改訂した第二次川越市観光振興計画の4つの基本方針のつとめ、歴史的資源を引き続き活用しながら、新たな価値を創造し続けることにより、伝統と革新が両立したまちづくりを進めていきたい。

問 まちづくりと観光振興



自由民主党 牛窪 喜史 2  
高齢者とサポートの今後



問 高齢者が加齢による身体機能の変化と向き合いながら、より豊かに最期まで過ごすために、市はどのように取り組んでいくのか伺う。

答 福祉部長 高齢になると、加齢に伴い、少なくとも身体機能は衰えていく。その変化を自覚し、必要に応じて、サービスの利用や他者からの支援を受けることで、いつま

でも生き生きと過ごすことにつながる。市としては、正しい知識の普及やサービスに関する情報提供など引き続き周知に努める。また、互助の醸成も必要と考えている。今後も、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるように、地域包括ケアシステムの実現を図る。

問 高齢者サポートと今後



自由民主党 村山 博紀 3  
本市の行財政の改革と運営



問 コロナ後の政策には、ニューノーマルを基準とした市民視点の施策を取り入れることが重要と考

答 市長 次の100年もさまざまな社会状況の変化が予測されるが、数年先の予測すら困難な状況と考える。

しかしながら、こうした不確実な状況だからこ

そ、長期的ビジョンの下での着実な取り組みと、時代の変化に即応できる安定した行財政基盤が重要である。総合計画に掲げた将来都市像等の将来ビジョンの実現に向けて着実に取り組むとともに、行財政改革の推進による持続可能な行財政基盤の構築に努めていきたい。

問 地方創生と施策の方向

問 行財政改革推進計画